

厚生労働科学研究費補助金 【エイズ対策政策研究事業】  
HIV 検査体制の改善と効果的な受検推奨のための研究  
(分担)研究報告書

インターネットサイトによる効果的な HIV 検査情報の発信と  
その有効活用に関する研究

研究分担者 佐野 貴子 (神奈川県衛生研究所)

研究協力者 近藤真規子 (神奈川県衛生研究所)、土屋 菜歩 (東北大学 東北メディカル・メガバンク機構)、須藤 弘二 (株式会社ハナ・メディック)、星野 慎二 (特定非営利活動法人 SHIP)、井戸田一朗 (しらかば診療所)、清水 茂徳 (東日本国際大学)、生島 嗣 (特定非営利活動法人ふれいす東京)、岩橋 恒太 (特定非営利活動法人 akta)、堅多 敦子 (東京都立駒込病院)、杉浦 太一 (株式会社 cinra)、今井 光信 (田園調布学園大学)、加藤 眞吾 (株式会社ハナ・メディック)、市川 誠一 (人間環境大学)、白阪 琢磨 (独立行政法人国立病院機構大阪医療センター)、今村 顕史 (東京都立駒込病院)

研究要旨

インターネットを通して保健所等 HIV 検査相談施設の検査情報や HIV/エイズの基礎知識などを継続的に提供し、HIV/エイズの知識普及や理解促進、HIV 検査希望者への受検サポートを推進することを目的としたウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」(<https://www.hivkensa.com>) の管理運営を行った。本サイトの情報提供の効果を調査するため、アクセスアナライザーによる利用状況の解析および保健所等 HIV 検査担当者へのアンケート調査を行った。

年間サイトアクセス数は、2019 年は 223 万件となり、2001 年のサイト開設以来過去最高となった。2018 年 10 月から 2019 年 5 月までアクセス数の増加が見られ、その要因としては HIV/エイズ関連のニュースが複数回報道されたこと、また、2018 年 11 月の映画 (ボヘミアン・ラプソディー) の公開から 2019 年 4 月に DVD/ブルーレイソフトが発売されるまでの間、映画関連の話題が多くメディアで取り上げられたものによるものと思われた。チャンネル別のアクセス数割合では、検索エンジンからのアクセスが 88.2%、直接アクセスが 8.1%、他サイトリンクからが 3.2%であった。2019 年に検索エンジンで当サイトにアクセスする際に一番多く使用された検索用語は「HIV」であり、以下、「エイズ」、「梅毒」と続いた。昨年の「梅毒」の検索順位は 1 位であったが、2019 年も 3 位と高かった。検索用語 10 位までの検索サイト平均掲載順位は、HIV/エイズ関連用語では 1.1~2.4 位、梅毒関連用語でも 1.4~7.2 位と上位であった。

HIV 検査相談に関するアンケート調査において、当サイトの利用状況等を保健所等 HIV 検査担当者に聞いたところ、当サイトを閲覧したことがある担当者は保健所 95%、特設検査機関 100%、当サイトが HIV 検査相談事業に役立っていると回答した担当者は保健所 77%、特設検査機関 100%であった。このことから、当サイトは保健所等の HIV 検査担当者の多くの方に認識していただいております、HIV 検査相談事業にも寄与しているものと推察された。

2001 年に HIV 検査研究班の公式サイトとして開設以来、2019 年末までに合計 2,298 万件のアクセスがあった。保健所等 HIV 検査相談施設の情報を広く紹介するとともに、検索エンジンの HIV/エイズ関連用語検索では常に上位に検索結果が表示されることから、社会において HIV 関連ニュースが大きく取り上げられた際の情報提供ページとしても機能している。また、当サイトは自治体の HIV/エイズ情報サイト、日本赤十字社の献血者への配布文書、啓発用パンフレットなど多方面で紹介され、行政的にも有効活用されている。今後も正確で最新の HIV 検査情報を提供していくとともに、更なる HIV/エイズの理解促進と、受検アクセスの向上に寄与したい。

## A.研究目的

インターネットを通して保健所等 HIV 検査相談施設の検査情報や HIV/エイズの基礎知識などを継続的に提供し、検査希望者への情報提供と受検サポート、HIV/エイズの理解促進を目的としたウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」(<https://www.hivkensa.com>) の管理運営を行った。本サイトの情報提供効果を調査するため、アクセス解析や保健所等職員へのアンケート調査により、当サイトが有効利用されているかを調査した。

## B.研究方法

### 1. 新規情報掲載、情報修正作業

保健所等HIV検査相談施設で実施されている常設検査の情報や不定期に実施される検査イベントの情報、また、HIV/エイズに関する基礎知識等について、ウェブサイト「HIV検査・相談マップ」(PCサイト、スマートフォンサイトおよび携帯電話サイト)に掲載し、情報提供を行った。PCサイトは2001年9月、携帯電話サイトは2003年4月に開設し、2009年10月にPCサイトおよび携帯電話サイトのリニューアルを行った。2013年にはスマートフォンサイトを開設した。2019年はPCサイトとスマートフォンサイトについてトップページ操作性向上のためのレイアウト調整を行った。

定期更新作業としては、2020年2月26日に新年度の検査日程等の情報確認のため、自治体153箇所および医療機関33箇所に情報確認依頼文書を送付し、3月中旬から修正作業を行った。また同年の作業として、検査施設の新規掲載、掲載情報修正および検査イベント情報の掲載等を行った。

### 2. サイト利用状況の調査 - Web解析 -

アクセス解析には「Google Analytics」および「検索順位ツールGRC」を用いて、①サイトアクセス数(年別、月別、日別)、②情報端末別アクセス数、③新規・リピーター割合、④サイト

訪問から離脱までの行動フロー、⑤検索エンジン(Google)での検索クエリ別順位、⑥参照元からのアクセス数、⑦サイトコンテンツのページビュー数、⑧アクセス地域およびアクセス言語、⑨外国語ページのページビュー数を調査し、利用者の動向およびHIV/エイズ関連報道によるアクセス数の影響等を解析した。

### 3. サイト活用状況の解析 - アンケート調査 -

HIV 検査・相談体制に関する調査(研究分担者土屋菜歩先生)において、保健所および特設検査施設の HIV 検査担当者に対し、当サイトの利用状況や HIV 検査相談事業への寄与に関するアンケート調査を実施した。

## C.研究結果

### 1. 新規情報掲載、情報修正作業の状況

2018年は保健所等HIV検査相談施設647箇所の検査情報の掲載を行い、検査イベント情報依頼145件、情報修正依頼420件の更新作業を行った(図1)。2019年はPCサイトおよびスマートフォンサイトのトップページ操作性向上のためのレイアウト調整(図2)を行った。

### 2. サイト利用状況の調査 - Web解析 -

PC サイト、スマートフォンサイトおよび携帯電話サイトでの 2001 年からの合計アクセス数は約 2,291 万件となった(図3)。2019年の年間サイトアクセス数は223万件であり、過去最高であった2018年の216万件よりもさらに7万件的増加がみられた。情報端末別にみると、スマートフォンからのアクセス数が200万件となり、総アクセス数の90%を占めた(図4)。月別アクセス数は、2018年10月から急激にアクセス数が増加し、2019年5月までは一月あたり20万件以上で推移していたが、6月以降はアクセス数が減少し、12月は過去5年間で最もアクセス数が少なくなった(図5)。日別アクセス数では、一日あたり10,000件を超えた日は5月までに計8回あったが、6月以降では「HIV 内定取り消し訴訟」のニュースの1回であった(図6)。訪問者別割合は、新規訪問

者が85%、リピーターが15%であり、2018年と同様の傾向であった(図7)。チャンネル別のアクセス割合では、検索エンジンからが88.2%、直接アクセスが8.1%、他サイトからが3.2%、SNSからが0.4%であった(図8)。

サイト訪問から離脱までの行動フローについて、アクセス数が増加した2018年7月から2019年6月までの期間で解析したところ、閲覧が開始されたページにおいてセッション数228万件のうち189万件(83%)が離脱しており、検査施設が検索できる施設検索ページに行ったのは約23万件であった(図9)。

検索エンジン(Google)における表示順位調査の指標としている検索クエリの月別順位をみたところ、「HIV」では1~3位、「エイズ」では1~4位、「AIDS」では1~5位の間で推移していた(図10)。「HIV」、「エイズ」、「AIDS」と「検査」の用語を組み合わせると1~2位、「HIV」、「AIDS」と「test」の用語を組み合わせると1位に表示された。検索エンジン(Google)で検索に用いられたクエリ別の順位を10位まで調査したところ、今年度、検索エンジンで当サイトを閲覧する際に一番多く使用された検索用語は「HIV」であり、以下、「エイズ」、「梅毒」と続いた(図11)。検索サイトでの検索用語別の平均掲載順位は1.1~7.2であり、「梅毒」で5.4と上位に表示されていた。

参照元からのアクセス数を見たところ、Google検索からが最も多く約108万件、Yahoo! JAPAN検索からが約34万件、直接アクセスが約13万件であった(図12)。参照サイトからのアクセス数をみると、「東京都」、「HIVマップ」、「日本赤十字社」、「バレない性病検査(郵送検査サイト)」の順に多かった(図13)。

サイトコンテンツのページビュー数を見ると、スマートフォンサイトの「HIV・エイズって何?」ページが約85万ページビューと一番多く、梅毒啓発ページ(もしかして梅毒!?)は約18万ページビューで4位に入った(図14)。上位10位中、スマートフォンサイトのページが8ページ

を占めた。検査・相談施設別ページビュー数では、「東京都南新宿検査・相談室」が最も多く、「chot CAST(大阪検査相談・啓発・支援センター)」、「あおぞらクリニック新橋院」、「池袋保健所」、「神戸市保健所」と続いた(図15)。

当サイトへのアクセス地域は日本からが156万人と最も多く、続いて米国7,557人、タイ国6,271人、フィリピン2,315人であった(図16)。アクセス言語では、日本語が154万人、英語が45,140人、中国語が7,918人であった。外国語ページ(英語、スペイン語、タイ語、タガログ語、ベトナム語、ポルトガル語、韓国語、中国語およびやさしい日本語)のページビュー数は、やさしい日本語が21,063件と最も多く、続いて英語ページが12,817件、ベトナム語2,389件、中国語2,367件であった(図17)。

### 3. サイト活用状況の解析 - アンケート調査 -

全国保健所および特設検査施設に対して実施したHIV検査相談に関するアンケート調査において、当サイトの利用状況やHIV検査相談事業への貢献度に関する質問をHIV/エイズ対策担当者に質問した。「当サイトを閲覧したことがあるか」の設問に対しては、「ある」との回答は保健所95%、特設検査施設100%であり(図18)、「当サイトが事業に役立っていると思うか」の設問では、「思う」の回答は保健所77%、特設検査施設100%であった(図19)。

## D. 考察

今年度のサイトアクセス数は223万件となり、2018年の216万件より7万件増加し、2001年の開設以降過去最高となった。2018年10月から2019年5月までアクセス数の増加が見られ、その要因としてはHIV/エイズ関連のニュースが複数回報道されたこと、また、2018年11月の映画(ボヘミアン・ラプソディー)の公開から2019年4月にDVD/ブルーレイソフトが発売されるまでの間、映画関連の話題が多くメディアで取り上げられたことによるものと思われる。しかしなが

ら、6月以降は右肩下がりでアクセス数が減少し、世界エイズデーがあった12月は過去5年間で一番アクセス数が少なかった。このことから、6月以降はメディアによるHIV/エイズ関連情報の取り上げが低調であったと思われる。

情報端末別アクセス数では、スマートフォンからが200万件と総アクセス数の90%を占めており、スマートフォンでの表示を主としたサイト構成が極めて重要と思われた。スマートフォンによる検索エンジンからのアクセス数が増加する一方で、サイト訪問から離脱までの行動フローを見たところ、セッション数228万件のうち189万件(83%)が1ページ目で離脱しており、検査施設検索ページに行ったのは約23万件(全セッション数の10%)であった。検索エンジンから当サイトに訪問された方が少しでも受検行動へと繋がるよう、施設検索ページに誘導できる仕組み作りを考えていく必要があると思われた。今年度、PCサイトおよびスマートフォンサイトについて、トップページ視認性・操作性向上のためのレイアウト調整を行ったことから、今後その効果について調査したい。チャンネル別のアクセス割合では、検索エンジンからのアクセスが88.2%、直接アクセスが8.1%、他サイトからのアクセスが3.2%、SNSからのアクセスが0.4%であり、SNSからの訪問数が少ないことが分かった。当サイトへのアクセスはスマートフォンからが90%を占めることからSNSを活用していくことが課題であり、今後、サイトデザインに画像を多用する等、SNSで転用しやすいサイト構成に改修する必要があると考える。

検索エンジン(Google)での検索クエリ別の順位を10位まで調査したところ、今年度、検索エンジンで当サイトを閲覧する際に一番多く使用された検索用語は「HIV」であり、以下、「エイズ」、「梅毒」と続いた。昨年の「梅毒」の検索順位は1位であったが、2019年も3位と高く、近年の梅毒感染者急増による、梅毒情報への関心の高さが伺えた。検索サイトでの検索用語別の平均掲載順

位は、HIV/エイズ関連用語では1.1~2.4位、梅毒関連用語でも1.4~7.2位と上位であった。サイト内の梅毒情報ページ(もしかして梅毒!?)の閲覧数もサイト全体の4位となっており、多くの方に閲覧していただいている。今後、他の性感染症に関する情報も充実させていきたい。

参照サイトからのアクセス数を見たところ、ゲイ・バイセクシャルの方を対象としたサイトが上位10位中3箇所あり、今後もさらに連携を進めたいと考える。また、郵送検査会社のアフェリエイトサイトからのアクセスもあり、インターネット上には郵送検査会社のサイトが多数表示されることから、郵送検査に関する正しい理解を促すための情報提供が必要と考える。

外国語ページではやさしい日本語が21,063件と最も多く、続いて英語ページ12,817件、ベトナム語2,389件、中国語2,367件であった。また、当サイトへのアクセス地域は米国7,557人、タイ国6,271人、フィリピン2,315人であったが、アクセス言語は英語が45,140人、中国語が7,918人であり、在日外国人が当サイトを利用している可能性が示唆された。来年度は東京オリンピック・パラリンピックを控えており、在日外国人や外国人旅行客の急増による外国人の検査希望者の増加も予測されることから、さらに多言語の情報提供体制について内容の充実を図り、バリアフリーなサイト構築を目指していきたい。

全国保健所および特設検査施設に対して実施したHIV検査相談に関するアンケート調査において、本サイトの利用状況等に関する質問をHIV/エイズ対策担当者に質問したところ、「当サイトを閲覧したことがあるか」の設問に対しては、「ある」との回答は保健所95%、特設検査施設100%、「当サイトが事業に役立っていると思うか」の設問では、「思う」が保健所77%、特設検査施設100%であり、当サイトは自治体HIV/エイズ担当者に認知されており、HIV検査相談事業に寄与していることが確認できた。

当サイトは HIV 検査研究班の公式サイトとして 2001 年に開設し、2019 年末までに約 2,298 万件のアクセスがあった。保健所等 HIV 検査相談施設の情報を広く公示するとともに、検索エンジンの HIV/エイズ関連用語検索で常に上位に検索結果が表示されることから、社会で HIV 関連ニュースが大きく取り上げられた際の情報提供ページとしても機能している。また、当サイトは自治体の HIV/エイズ情報媒体、日本赤十字社の献血者への配布文書、啓発用パンフレット等、多方面で紹介され、行政的にも有効活用されている。今後も正確で最新の HIV 検査情報を提供していくとともに、更なる HIV/エイズの理解促進と、受検アクセスの向上に寄与していきたい。

## E. 結論

ウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」(<https://www.hivkensa.com>) を運営し、保健所等 HIV 検査相談施設の最新情報や HIV 検査に関する基礎知識等の情報を継続的に提供した。また、アクセス解析から、利用状況や閲覧ページの動向等を調査した。

今年度のサイト訪問数は約 223 万件と 2001 年のサイト開設以来過去最高となった。検索エンジンで当サイトにアクセスする際に使用された検索用語は「HIV」、「エイズ」、「梅毒」であり、近年の梅毒感染者急増による梅毒情報への関心の高さが伺えた。

アンケート調査結果からは保健所担当者が当サイトを活用していることが分かり、当サイトの保健所 HIV 検査相談事業への寄与が示唆された。本サイトアドレスは日本赤十字社での献血者への配布文書や自治体サイト、啓発用パンフレット等にも多方面で紹介されており、行政的にも有効利用されている。

## F. 健康危険情報

なし

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

- 1) 佐野貴子、嘉手苅将、渡邊寿美、鈴木理恵子、稲田貴嗣、近藤真規子. 神奈川県域の保健所等における HIV 検査数の推移と陽性例の解析. 神奈川県衛生研究所研究報告、49 : 7-12、2019
- 2) 貞升健志、長島真美、吉村和久、川畑拓也、佐野貴子、近藤真規子、松岡佐織、立川愛、草川茂. 病原体検出マニュアル「後天性免疫不全症候群/HIV 感染症」改訂の経緯. 病原微生物検出情報、40 : 166-167、2019
- 3) 石田倫也、白井宏幸、白井宏直、土岐平、野々田豊、岩崎俊之、石倉健司、野々山勝人、佐野貴子. 流行性筋痛症とヒトパレコウイルス. 小児科、60 : 1395-1400、2019

### 2. 学会発表

- 1) 佐野貴子、近藤真規子、土屋菜歩、須藤弘二、星野慎二、井戸田一朗、清水茂徳、生島嗣、岩橋恒太、今井光信、加藤眞吾、市川誠一、白坂琢磨、今村顕史. ウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」を用いた HIV 検査相談情報の提供とサイト利用状況の解析. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会、2019 年 11 月 27-29 日、熊本.
- 2) 須藤弘二、佐野貴子、近藤真規子、今井光信、今村顕史、加藤眞吾. HIV 郵送検査に関する実態調査 (2018). 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会、2019 年 11 月 27-29 日、熊本.
- 3) 近藤真規子、佐野貴子、長島真美、貞升健志、蜂谷敦子、瀧永博之、吉村幸浩、立川夏夫、岩室紳也、井戸田一朗、今井光信、加藤眞吾、椎野貞一郎、吉村和久、菊地正. 日本で流行している HIV-1 CRF01\_AE の分子疫学的特徴の解析. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会、2019 年 11 月 27-29 日、熊本.
- 4) 土屋菜歩、佐野貴子、近藤真規子、カエベタ亜矢、関なおみ、城所敏英、根岸潤、堅多敦子、川畑拓也、貞升健志、須藤弘二、加藤眞吾、大

木幸子、生島嗣、今井光信、今村顕史. 保健所・検査所における HIV 検査・相談体制と実施状況および課題に関するアンケート調査. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会、2019 年 11 月 27-29 日、熊本.

- 5) 土屋菜歩、佐野貴子、近藤真規子、カエベタ亜矢、関なおみ、城所敏英、根岸潤、堅多敦子、川畑拓也、貞升健志、須藤弘二、加藤真吾、大木幸子、生島嗣、今井光信、今村顕史. 保健所・検査所における梅毒検査実施状況および陽性率に関するアンケート調査. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会、2019 年 11 月 27-29 日、熊本.
- 6) 桃原祥人、吉野直人、伊藤由子、大里和広、小山理恵、高橋尚子、塚原優己、渡邊英恵、羽柴知恵子、廣瀬紀子、佐野貴子、鈴木ひとみ、長興由紀子、津國瑞紀、浅野真、谷村憲司、森實真由美、木内英、喜多恒和. HIV 母子感染予防啓発に関する全国自治体アンケート調査と今後の啓発活動の考察. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会、2019 年 11 月 27-29 日、熊本.

#### H.知的所有権の出願・登録状況（予定を含む）

なし

図1

## ホームページの施設情報、検査イベント情報、 情報修正依頼件数

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
掲載依頼					
施設情報	666	664	657	650	647
検査イベント情報	157	185	168	149	145
情報修正依頼	345	364	363	403	420

図2 トップページ操作性向上のための調整 (2019年6月)

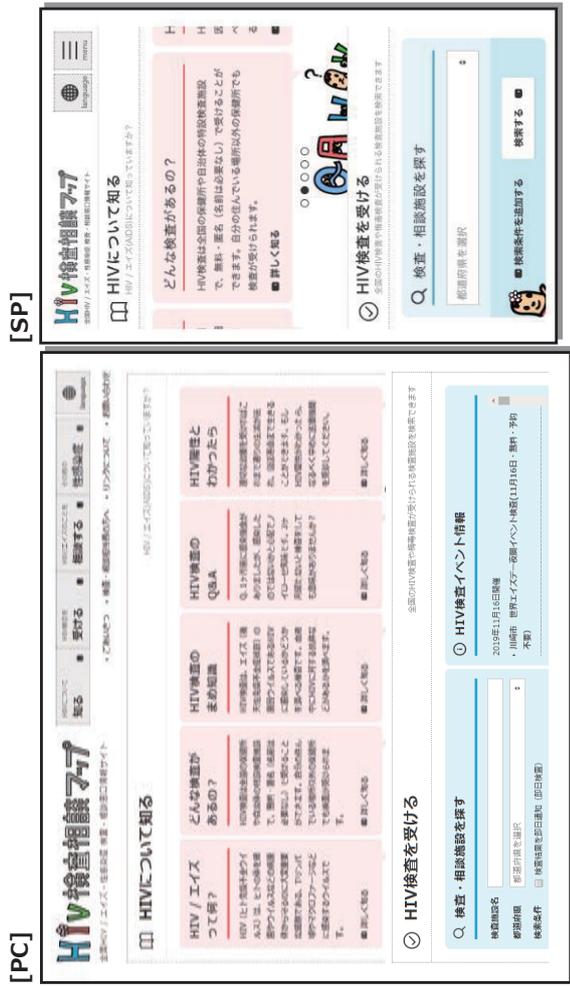


図3

## サイトアクセス数 (2001年-2019年)

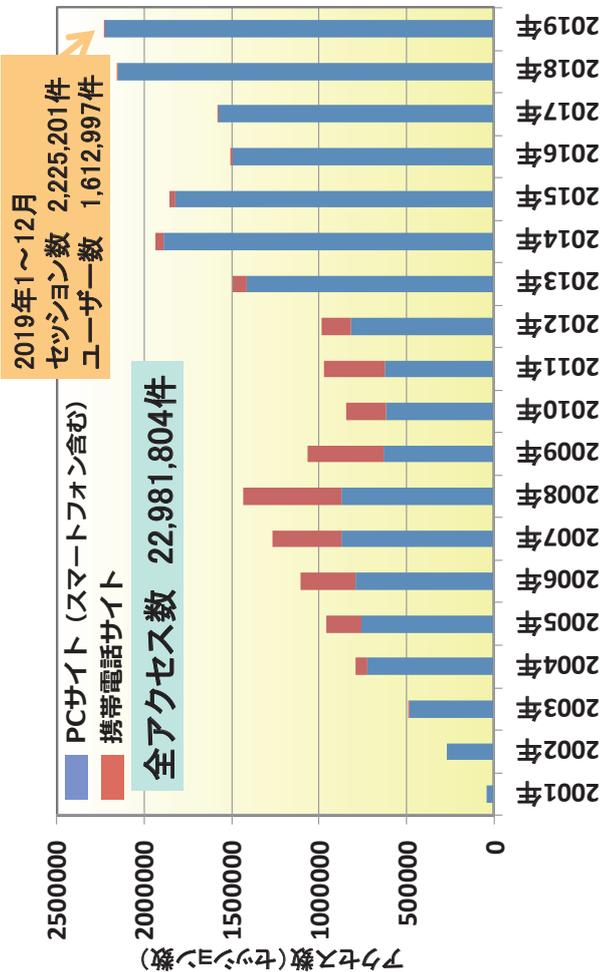


図4

## 情報端末別アクセス数の推移 (2010年-2019年)

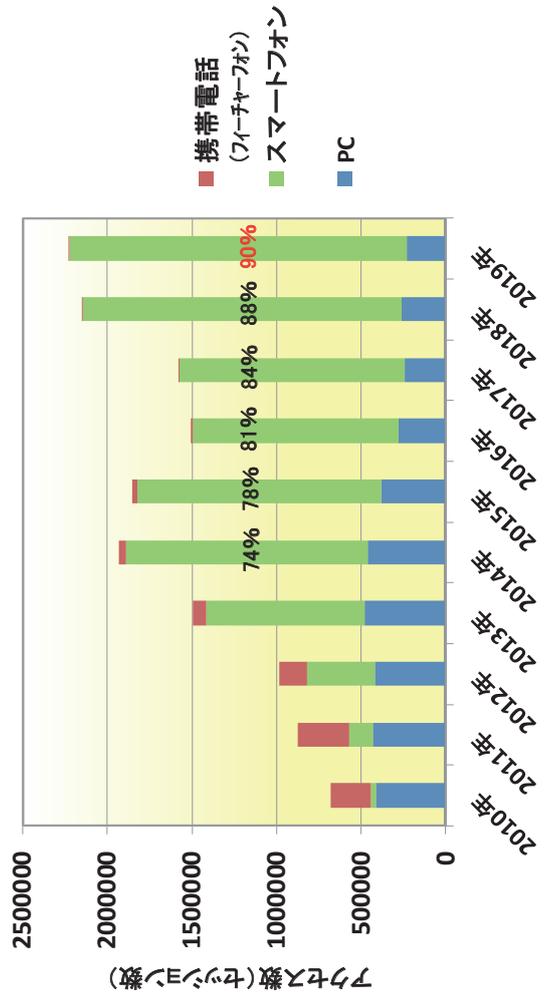


図5

月別アクセス数の推移 (2011年~2019年)

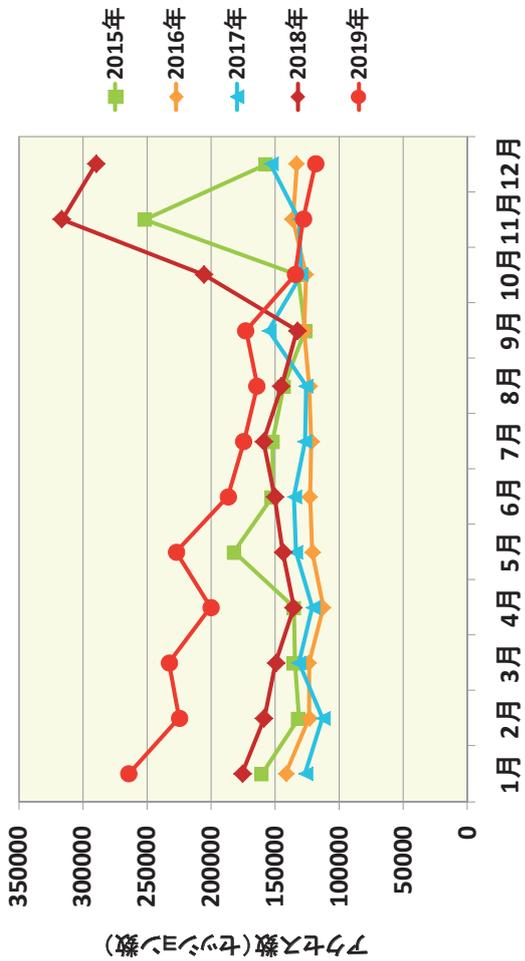


図7

訪問者別(新規・リピーター)割合

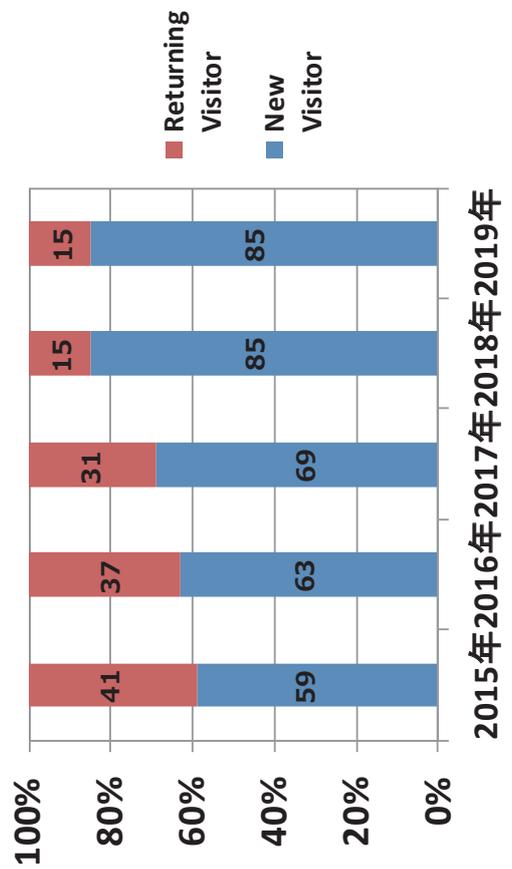


図6 日別アクセス数 (2018年、2019年)

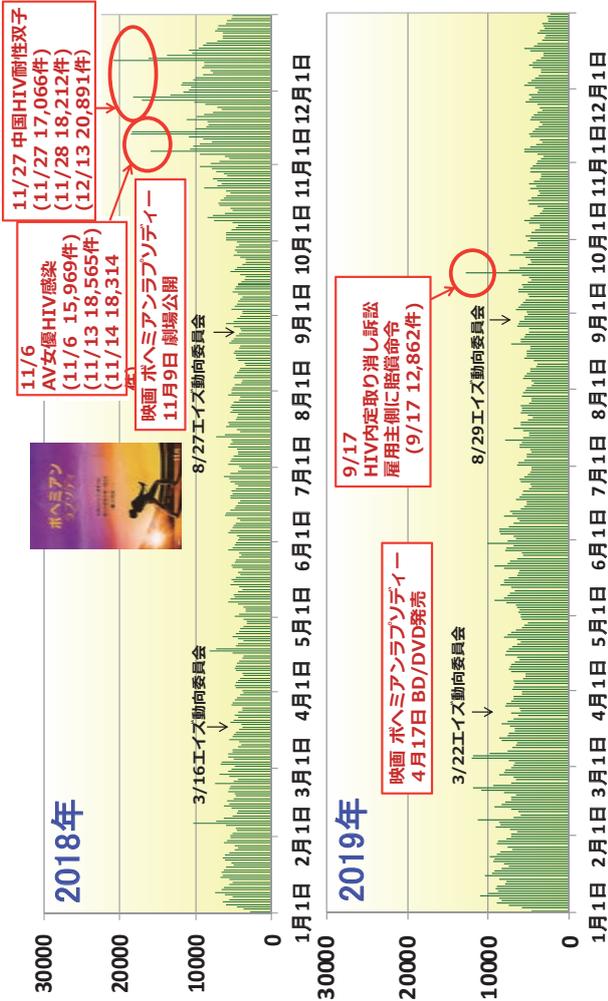


図8

チャンネル別アクセス割合 (2019年)

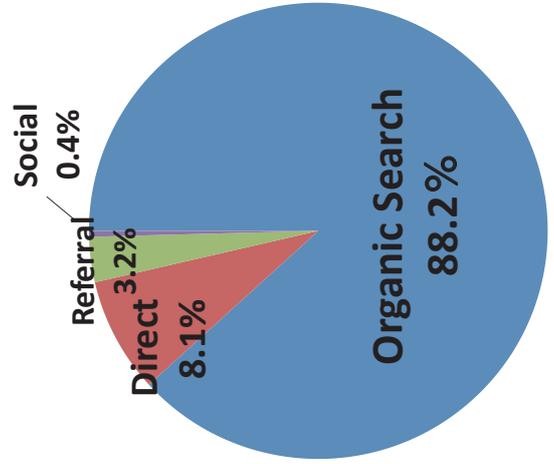


図10

## 検索エンジン 検索クエリ別月別順位 (Google)

検索クエリ	Google件数 (2020年1月)	2019年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
HIV	250,000,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	3	3
エイズ	6,730,000	1	1	1	1	4	1	1	1	1	2	3	4
AIDS	369,000,000	1	1	3	2	3	4	3	3	2	3	5	4
HIV 検査	4,080,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
エイズ 検査	4,470,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
AIDS 検査	7,184,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1
HIV test	173,000,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
AIDS test	339,000,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

(PC版 検索順位ツールGRCで解析)

## 図9 サイト訪問から離脱までの行動フロー

(2018年8月~2019年6月)



図12

## 参照元からのアクセス数 (2019年)

参照元	アクセス数
1 Google 検索	1,077,450
2 Yahoo! JAPAN 検索	339,397
3 Direct access	132,951
4 ドコモ 検索	19,814
5 bing 検索	11,888
6 東京都	7,908
7 au 検索	5,816
8 HIVマップ	5,687
9 Twitter リンク	3,721
10 日本赤十字社	2,457
11 バレない性病検査 (STDチェッカー)	2,229
12 You Tube	2,088

図11

## 検索エンジン 検索クエリ別順位 (Google)

(2019年)

順位	検索クエリ	クリック数	平均掲載順位
1	hiv	70,217	1.8
2	エイズ	68,640	2.1
3	梅毒	58,470	5.4
4	hiv 検査	42,938	1.1
5	エイズ 検査	36,599	1.1
6	エイズとは	28,118	2.4
7	hiv 感染率	18,389	1.1
8	エイズ 感染率	17,209	1.1
9	梅毒 症状	12,690	7.2
10	梅毒 検査	11,898	1.4

図13

参照サイトからのアクセス数 (2019年)

参照サイト	アクセス数
1 東京都	7,908
2 HIVマップ	5,687
3 日本赤十字社	2,457
4 バレない性病検査(STD子エッカー)	2,229
5 東京都南新宿検査相談室	1,601
6 コミュニティセンターakta	1,103
7 KO MENS.TV	984
8 HIVと人権情報センター	932
9 北海道HIV/AIDS情報	734
10 神奈川県	690

図15

検査・相談施設別ページビュー数 (2019年)

検査・相談施設	アクセス数
1 東京都南新宿検査相談室	79,903
2 chotCAST(大阪検査相談・啓発・支援センター)火・木・土・日曜日検査	35,434
3 あおぞらクリニック 新橋院	24,966
4 池袋保健所	22,714
5 神戸市保健所(検査会場:三宮センタープラザ西館6階)	22,369
6 新宿区保健所健診会場	20,738
7 東京都多摩地域検査・相談室	16,885
8 福岡市中央区保健福祉センター	15,173
9 千代田区千代田保健所	14,142
10 福岡市博多区保健福祉センター	12,297

図14

サイトコンテンツのページビュー数 (2019年)

ページビュー全体 5,358,843件

サイトコンテンツ	ページビュー数
1 mb HIV・エイズって何?	850,716
2 mb トップページ	325,754
3 mb HIV検査まめ知識	209,428
4 mb もしかして梅毒!?	177,087
5 mb HIV検査Q&A	156,514
6 mb 検査・相談所検索	143,007
7 mb 東京都検査結果ページ	86,563
8 mb 東京都南新宿検査・相談室	79,903
9 PC HIV・エイズって何?	67,438
10 PC トップページ	55,199

図16

アクセス地域およびアクセス言語 (2019年)

アクセス国	ユーザー数	アクセス言語	ユーザー数
Japan	1,562,483	日本語(日本)	1,268,802
United States	7,557	日本語	269,262
Thailand	6,271	英語(米国)	45,140
Philippines	2,315	中国語(簡体)	6,391
Vietnam	2,017	英語(英国)	4,839
South Korea	1,772	中国語(繁体)	1,527
Australia	1,616	英語(オーストラリア)	1,509
Indonesia	1,551	韓国語(韓国)	1,221
Singapore	1,486	ベトナム語(ベトナム)	1,168
Canada	1,445	英語(カナダ)	808

図17

外国語ページのページビュー数 (2019年)

言語	mb	PC	全体
英語	10,064	2,753	12,817
スペイン語	369	83	452
タイ語	1,205	95	1,300
タガログ語	93	44	137
ベトナム語	2,227	162	2,389
ポルトガル語	661	94	755
韓国語	205	52	257
中国語	2,074	293	2,367
やさしい日本語	18,493	2,570	21,063

図18

(2019年)

ホームページ「HIV検査・相談マップ」を  
ご覧になったことはありますか？

(保健所488件中) (特設検査施設15件中)

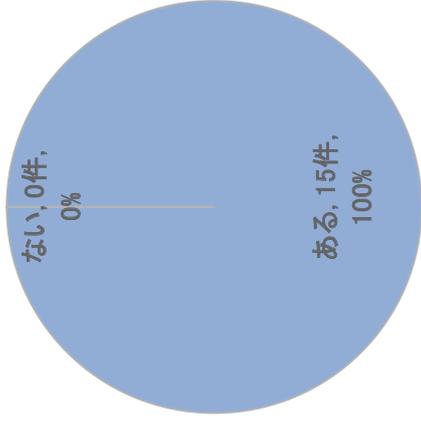
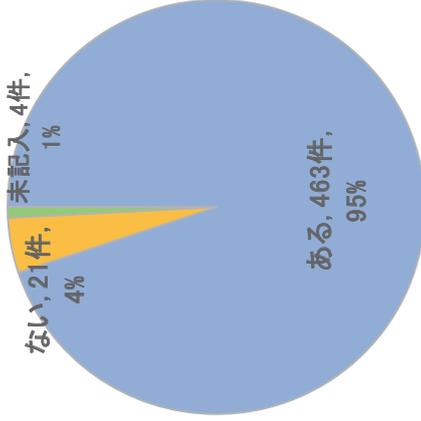


図19

(2019年)

「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に  
役立っていると思いますか？

(保健所488件中) (特設検査施設15件中)

